

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 報道発表は次のとおり願います。 |                 |
| テレビ・ラジオ・インターネット | 令和5年7月31日（月）17時 |
| 新聞              | 令和5年8月1日（火）朝刊   |

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

標記のことにつきましては、都道府県ごとの結果が文部科学省より提供されましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ○ 調査の目的

全国学力・学習状況調査は、

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

ことを目的として、文部科学省が、学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市町村教育委員会、学校法人、国立大学法人、公立大学法人等の協力を得て実施するものです。

#### 本資料についてのお問い合わせ

◆県教育庁学校教育部義務教育課 指導担当課長補佐 長峰 正道 TEL029-301-5226

|      |                 |                  |
|------|-----------------|------------------|
| 解禁日時 | テレビ・ラジオ・インターネット | 令和5年7月31日 午後5時以降 |
|      | 新聞              | 令和5年8月1日 朝刊      |

令和5年7月28日  
義務教育課

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象・内容、調査期日及び調査方式

○ 調査対象・内容

(1) 小学校

ア 対象 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 内容 国語、算数、児童質問紙調査

(2) 中学校

ア 対象 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

イ 内容 国語、数学、英語、生徒質問紙調査

※ 学校質問紙調査を併せて実施

○ 調査期日 令和5年4月18日（火）

○ 調査方式 悉皆方式

### 3 調査を実施した学校・児童生徒数

| 小学校     | 学校数（校） | 児童数（人）  |         |
|---------|--------|---------|---------|
|         |        | 国語      | 算数      |
| 茨城県（公立） | 461    | 21,924  | 21,927  |
| 全国（公立）  | 18,618 | 964,177 | 964,350 |

| 中学校     | 学校数（校） | 生徒数（人）  |         |         |
|---------|--------|---------|---------|---------|
|         |        | 国語      | 数学      | 英語      |
| 茨城県（公立） | 233    | 21,633  | 21,627  | 21,642  |
| 全国（公立）  | 9,337  | 892,738 | 893,114 | 893,528 |

### 4 結果一覧

(%は平均正答率)

| 区分         | 小学校調査      |            | 中学校調査      |            |            |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|            | 国語         | 算数         | 国語         | 数学         | 英語         |
| <b>茨城県</b> | <b>67%</b> | <b>61%</b> | <b>71%</b> | <b>51%</b> | <b>45%</b> |
| 全国         | 67.2%      | 62.5%      | 69.8%      | 51.0%      | 45.6%      |
| 順位         | 17位        | 27位        | 5位         | 15位        | 15位        |

※ 中学校英語の調査結果は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計。

【参考】前回調査（令和4年度）の結果

| 区分  | 小学校調査 |       | 中学校調査 ※英語は平成31年度の結果 |       |       |
|-----|-------|-------|---------------------|-------|-------|
|     | 国語    | 算数    | 国語                  | 数学    | 英語    |
| 茨城県 | 65%   | 62%   | 70%                 | 50%   | 56%   |
| 全国  | 65.6% | 63.2% | 69.0%               | 51.4% | 56.0% |
| 順位  | 23位   | 24位   | 5位                  | 28位   | 13位   |

※ 順位については、国から提供された都道府県の平均正答率をもとに県が算出。

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、国から、小数点以下を四捨五入した整数値で提供されている。

## 5 教科に関する調査の結果概況

### 【小学校】国語 結果の概況 (◇：正答率80%以上の主なもの、◆正答率50%以下の主なもの)

◇文章の種類とその特徴について理解することはできている。(1)四 県80.3% 国79.8%)

◇目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することはできている。

(2)一 県90.2% 国90.0%)

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

(1)二 県35.5% 国26.7%)

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

(1)三(1)ア 県49.0% 国52.8%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

| 分類            | 区分 (問題数)     |                     | 平均正答率 (%) |      |
|---------------|--------------|---------------------|-----------|------|
|               |              |                     | 茨城県       | 全国   |
| 学習指導要領<br>の領域 | 知・技          | 言葉の特徴や使い方に関する事項 (5) | 69.2      | 71.2 |
|               |              | 情報の扱い方に関する事項 (2)    | 64.3      | 63.4 |
|               |              | 我が国の言語文化に関する事項 (0)  |           |      |
|               | 思・判・表        | 話すこと・聞くこと (3)       | 70.7      | 72.6 |
|               |              | 書くこと (1)            | 35.5      | 26.7 |
|               |              | 読むこと (3)            | 73.3      | 71.2 |
| 評価の観点         | 知識・技能 (7)    | 67.8                | 68.9      |      |
|               | 思考・判断・表現 (7) | 66.8                | 65.5      |      |

### 【中学校】国語 結果の概況 (◇：正答率80%以上の主なもの、◆正答率50%以下の主なもの)

◇目的や場面に応じて質問する内容を検討することはできている。(1)一 県87.9% 国87.5%)

◇事象や行為、心情を表す語句について理解することはできている。

(2)一 県90.9% 国91.1%)

◆文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

(3)二 県42.2% 国43.9%)

◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

(4)三 県49.8% 国50.0%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

| 分類            | 区分 (問題数)     |                     | 平均正答率 (%) |      |
|---------------|--------------|---------------------|-----------|------|
|               |              |                     | 茨城県       | 全国   |
| 学習指導要領<br>の領域 | 知・技          | 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) | 66.5      | 67.5 |
|               |              | 情報の扱い方に関する事項 (2)    | 64.9      | 63.4 |
|               |              | 我が国の言語文化に関する事項 (3)  | 75.4      | 74.7 |
|               | 思・判・表        | 話すこと・聞くこと (3)       | 83.7      | 82.2 |
|               |              | 書くこと (2)            | 62.1      | 63.2 |
|               |              | 読むこと (4)            | 65.1      | 63.7 |
| 評価の観点         | 知識・技能 (7)    | 69.9                | 69.4      |      |
|               | 思考・判断・表現 (9) | 70.6                | 69.7      |      |

**【小学校】算数 結果の概況** (◇：正答率 80%以上の主なもの、◆正答率 30%以下の主なもの)

- ◇伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることはできている。(1)(1) 県 92.3% 国 93.5%)
- ◇伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることはできている。(1)(2) 県 86.4% 国 88.5%)
- ◆正三角形の意味や性質についての理解に課題がある。(2)(3) 県 23.6% 国 24.9%)
- ◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。(2)(4) 県 25.3% 国 20.8%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

| 分類        | 区分 (問題数)    | 平均正答率 (%) |      |
|-----------|-------------|-----------|------|
|           |             | 茨城県       | 全国   |
| 学習指導要領の領域 | A 数と計算(6)   | 65.5      | 67.3 |
|           | B 図形(4)     | 47.1      | 48.2 |
|           | C 変化と関係(4)  | 69.5      | 70.9 |
|           | D データの活用(3) | 64.6      | 65.5 |
| 評価の観点     | 知識・技能(9)    | 65.3      | 67.2 |
|           | 思考・判断・表現(7) | 56.0      | 56.5 |

**【中学校】数学 結果の概況** (◇：正答率 60%以上の主なもの、◆正答率 30%以下の主なもの)

- ◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることはできている。(6)(1) 県 88.4% 国 88.9%)
- ◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができている。(6)(2) 県 62.4% 国 58.8%)
- ◆空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることの理解に課題がある。  
(3) 県 28.7% 国 30.4%)
- ◆ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。  
(9)(1) 県 29.6% 国 32.1%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

| 分類        | 区分 (問題数)    | 平均正答率 (%) |      |
|-----------|-------------|-----------|------|
|           |             | 茨城県       | 全国   |
| 学習指導要領の領域 | A 数と式(5)    | 63.4      | 63.0 |
|           | B 図形(3)     | 31.7      | 33.2 |
|           | C 関数(4)     | 51.7      | 51.2 |
|           | D データの活用(3) | 47.1      | 48.5 |
| 評価の観点     | 知識・技能(10)   | 54.5      | 55.7 |
|           | 思考・判断・表現(5) | 43.0      | 41.6 |

**【中学校】英語 結果の概況** (◇：正答率 55%以上の主なもの、◆正答率 40%以下の主なもの)

- ◇社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることはできている。  
 (4) 県 56.7% 国 54.8%)
- ◇社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることはできている。  
 (8)(1) 県 58.3% 国 56.1%)
- ◆与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させることに課題がある。  
 (9)(1)① 県 38.1% 国 40.4% (9)(1)② 県 19.6% 国 20.9%)
- ◆日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。(10) 県 7.7% 国 7.4%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

| 分類        | 区分 (問題数)     | 平均正答率 (%) |      |
|-----------|--------------|-----------|------|
|           |              | 茨城県       | 全国   |
| 学習指導要領の領域 | 聞くこと (6)     | 57.9      | 58.4 |
|           | 読むこと (6)     | 51.7      | 51.2 |
|           | 書くこと (5)     | 22.6      | 23.4 |
| 評価の観点     | 知識・技能 (9)    | 50.5      | 51.5 |
|           | 思考・判断・表現 (8) | 39.5      | 38.8 |

## 6 教科に関する児童生徒質問紙調査結果

※「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

|     | 国語の勉強は好き |       | 国語の勉強は大切 |       | 国語の学習は将来に役立つ |       |
|-----|----------|-------|----------|-------|--------------|-------|
|     | 小学校      | 中学校   | 小学校      | 中学校   | 小学校          | 中学校   |
| 茨城県 | 63.7%    | 64.3% | 94.5%    | 92.4% | 93.1%        | 89.0% |
| 全国  | 61.5%    | 61.4% | 94.2%    | 92.4% | 92.8%        | 88.7% |

- ・国語については、上記の全ての質問で「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、全国の割合以上の結果であった。

|     | 算数・数学の勉強は好き |       | 算数・数学の勉強は大切 |       | 算数・数学の学習は将来に役立つ |       |
|-----|-------------|-------|-------------|-------|-----------------|-------|
|     | 小学校         | 中学校   | 小学校         | 中学校   | 小学校             | 中学校   |
| 茨城県 | 61.1%       | 56.4% | 94.1%       | 86.4% | 93.4%           | 77.4% |
| 全国  | 61.4%       | 56.7% | 94.2%       | 85.0% | 93.3%           | 75.8% |

- ・算数については、どの質問も全国と同等、もしくは下回る結果であった。数学については、「数学の勉強は大切」「数学の学習は将来に役立つ」の質問で、「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合が、全国の割合より高い結果であった。

|     | 英語の勉強は好き |       | 英語の勉強は大切 |       | 英語の学習は将来に役立つ |       |
|-----|----------|-------|----------|-------|--------------|-------|
|     | 小学校      | 中学校   | 小学校      | 中学校   | 小学校          | 中学校   |
| 茨城県 |          | 52.7% |          | 89.1% |              | 89.1% |
| 全国  |          | 51.9% |          | 88.0% |              | 87.5% |

- ・英語については、上記の全ての質問で「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は、全国の割合より高い結果であった。

○ 令和5年度全国学力・学習状況調査における教科に関する調査問題、正答例、解説資料、質問紙調査については、国立教育政策研究所のホームページを参照してください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

7 生活習慣や学習環境に関する児童生徒・学校質問紙の結果

児童生徒質問紙調査より

○ 全国平均を上回った主な項目

・ 基本的な生活習慣等に関する内容 (「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

| 質問項目                | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
|                     | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 朝食を毎日食べていますか        | 94.1% | 93.9% | 91.9% | 91.2% |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか  | 81.7% | 81.0% | 78.8% | 78.0% |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか | 91.1% | 90.5% | 92.0% | 91.3% |

・ 学習習慣、学習環境等に関する内容

| 質問項目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
|   | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか<br>(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)       | 83.2% | 81.9% | 72.2% | 69.9% |
| 家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)<br>(「よくしている」、「ときどきしている」と回答した割合) | 77.4% | 70.7% | 62.0% | 55.0% |

・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感に関する内容 (「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

| 質問項目                       | 小学校   |       | 中学校   |       |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                            | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 将来の夢や目標を持っていますか            | 83.3% | 81.5% | 68.0% | 66.3% |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか      | 91.8% | 91.6% | 88.2% | 88.1% |
| 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか | 79.1% | 76.8% | 65.4% | 63.9% |

・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する内容  
(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか           | 80.6% | 78.8% | 81.4% | 79.2% |
| 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか | 76.7% | 74.4% | 72.6% | 69.1% |
| 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか             | 78.7% | 77.4% | 71.6% | 69.2% |
| あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか  | 79.3% | 77.2% | 81.0% | 77.9% |

・ ICTを活用した学習状況に関する内容

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(「ほぼ毎日」、「週3回以上」と回答した割合)  | 64.0% | 62.4% | 78.4% | 61.1% |
| 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか(「役に立つと思う」、「どちらかといえば、役に立つと思う」と回答した割合) | 95.7% | 95.1% | 94.9% | 93.3% |

・ 個別最適な学び(個に応じた指導)・協働的な学びに関する状況に関する内容  
(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

| 質問項目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
|   | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか | 84.1% | 82.9% | 75.5% | 74.9% |

○上記以外に全国と比べ、割合の高かった項目

- ・1、2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

(中：茨 82.8 国：78.7)

- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

(小：茨 77.8 国：75.7 中：茨 73.6 国：71.6)

▼ 全国平均を下回った主な項目

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感に関する内容 (「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

| 質 問 項 目             | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
|                     | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 自分には、よいところがあると思いますか | 82.1% | 83.5% | 78.5% | 80.0% |

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する内容

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

| 質 問 項 目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか | 61.8% | 63.7% | 60.5% | 62.1% |



**学校質問紙調査より**

○ 全国平均を上回った主な項目

- ・ 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況に関する内容

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

| 質問項目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
|   | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか | 98.2% | 95.5% | 92.7% | 88.5% |
| 児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか      | 93.5% | 88.8% | 92.7% | 83.8% |

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する内容

(「そう思う(よく行った)」、「どちらかといえば、そう思う(行った)」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 調査対象学年児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか                                  | 88.1% | 88.9% | 93.6% | 88.0% |
| 調査対象学年に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか                             | 92.2% | 85.6% | 91.8% | 78.6% |
| 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れられましたか | 92.2% | 90.4% | 92.3% | 87.0% |
| 調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか               | 80.4% | 79.0% | 86.7% | 81.6% |

- ・ 個別最適な学び(個に応じた指導)・協働的な学びに関する状況

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか   | 96.5% | 93.1% | 97.9% | 90.9% |
| 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか | 95.7% | 94.3% | 97.8% | 94.2% |

- ・ カリキュラム・マネジメントに関する取組状況

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか | 97.0% | 96.3% | 98.7% | 94.1% |

- ・ 小学校教育と中学校教育の連携に関する内容

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 前年度までに、近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか | 69.2% | 60.6% | 75.2% | 66.8% |
| 令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小(中)学校と成果や課題を共有しましたか                | 62.7% | 53.6% | 62.6% | 54.7% |

- ・ 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況に関する内容

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

| 質問項目   | 小学校   |       | 中学校   |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか | 98.9% | 96.2% | 98.7% | 95.2% |

・ICTを活用した学習状況に関する内容

(「ほぼ毎日」、「週3回以上」と回答した割合)

| 質問項目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
|   | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| 前年度に、教員が大型掲示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか | 95.9% | 88.5% | 94.9% | 89.1% |

○上記以外に全国と比べ、割合の高かった項目

- ・児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5) 生徒に対するオンラインを活用した相談・支援

(小:茨 15.2 国:8.6 中:茨 37.8 国:11.5)

- ・児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

(小:茨 42.7 国:40.0 中:茨 64.4 国:40.9)

- ・調査対象学年の児童生徒に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか

(小:茨 91.6 国:84.6 中:茨 87.1 国:64.7)

- ・調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか

(小:茨 95.9 国:90.8 中:茨 93.1 国:84.6)

▼ 全国平均を下回った主な項目

- ・家庭や地域との連携等に関する内容

(「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

| 質問項目  | 小学校   |       | 中学校   |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
|   | 茨城県   | 全国    | 茨城県   | 全国    |
| コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか | 81.5% | 86.1% | 82.0% | 79.3% |